

官民共創クリエイティブスタジオ

PROJECT_



Vega

「競争」よりも「共創」を。

テクノロジーの進化でつながりやすくなった現代。

より大きな成果と成長をもたらすのは

「競争」よりも「共創」の発想だと私たちは考えます。

業界丸ごと。国と一緒に。

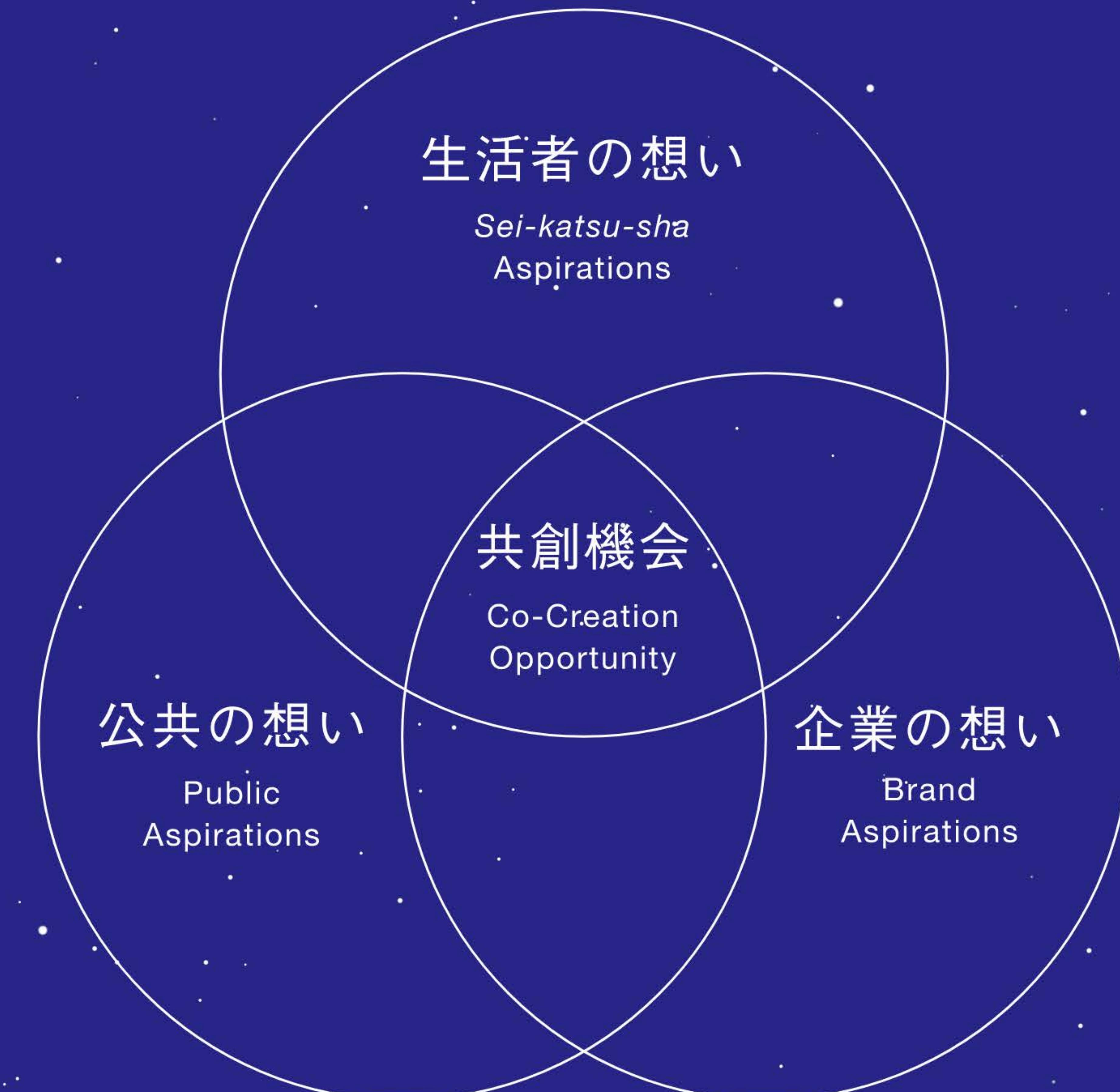
目的が重なるなら、ライバルと組んだっていい。

ひとりでは不可能だった成長へ、ともに挑戦しませんか。

官民共創クリエイティブスタジオ
PROJECT_Vega

生活者・国・企業。
内なる想いを重ね合わせ、
より大きな成長を
ともに目指す。

それぞれのAspiration（課題や想い）を重ね、
共創の機会を見出し、
より大きな成長へたどり着くために。
私たちは、3つの視点の掛け算を武器にします。



人を見る目：

「みんな」ではなく
「ひとり」として捉える

人間を「消費者」としてではなく「生活者」として
まるごと理解する「生活者発想」のエキスパートでありながら、
政策をリードする側のリアルを深く知り、その交差を鋭く深く捉え、
産官学民を巻き込んでいきます。

社会を見る目：
社会課題
ではなく
社会機会

社会課題を「解決しないといけない課題」ではなく
「社会を前進させるための機会」と捉えることで、
マイナスの状態がプラスへと転じることを目指します。

企業を見る目： 事業資産 ではなく 社会資産

企業や組織の資産を事業成長や差別性から見るだけではなく、
「社会のためになるものは何か」という視点で見つめます。
社会資産は意外と気づかれにくいことも多く、また、見逃されがちです。

共創機会を見つけて 新しい成長を実現する Co-Briefingという考え方

Aspirations Drawing



“Vega” Discovery



Execution Building

より大きな成長へと導く「共創機会」を見出すために。

様々なステークホルダーと対話しながら

現状の想いと課題をすり合わせる必要があります。

私たちは、3つのステップでプロジェクトを進めていきます。

01

内なる想いを引き出す

Aspirations Drawing

共創に必要なのは、きれいごとや義務感ではない、
あらゆる人の「Aspiration (想いや課題)」に向き合うことだと私たちは信じています。
このステップでは、多様なインプットとネットワークを駆使しながら、
それぞれがプロとして、個人として持っているAspirationを引き出します。

WHAT WE DO

- ・CXO 1on1セッション
- ・キーパーソンヒアリング
- ・産官学民基礎情報レポート
- ・外部有識者ヒアリング
- ・生活者トレンドレポート
- ・生活者イシュー&インサイトリサーチ
- ・グローバルケーススタディ

02

共創機会を探索する

“Vega” Discovery

STEP1で得られた想いや課題を重ね合わせ、混ぜ合わせ、
共創のための「大きな機会」=みんなで目指す新たな北極星（Vega）を見出します。
このステップの特徴は、Vegaオリジナルのプログラム、
創造的なファシリテーションを主軸としたワークショップです。

WHAT WE DO

- ・ワークショップデザイン
(1day/合宿など)
- ・クリエイティブ・ファシリテーション
- ・共創機会デザイン
- ・初期アイデア開発（プロトタイプ）
- ・エコノミー・ポテンシャル調査
(受容性/規模)

03

成長ストーリーをデザインする

Execution Building

クリエイティブ、ストラテジー、PR、PA、ビジネスデザイナーを中心とした
Vegaのエキスパートチームが、共創シナリオと成長ストーリーを、
領域に囚われずに、最適なやり方で、
統合的なアウトプットとしてプランニングしていきます。

WHAT WE DO

- ・プロジェクト（国民運動）設計
- ・新規ビジネスモデル開発
- ・サービス／プロダクト開発
- ・統合コミュニケーション設計
- ・戦略PR／パブリックアフェアーズ／
合意形成
- ・シンクタンク／コンソーシアム運営

経済活動のデザインと創造

共創による社会課題解決を通じて私たちが目指すのは、
単発的な社会貢献/ソーシャル・グッドのさらに先にあります。
生活者、公共、企業。あらゆるプレーヤーの豊かな関係性を生み出すこと。
そこから活気ある文化が生まれ、サステナブルな経済活動へ
つながっていくと考えています。

NEW

文化庁との官民共創による「文化財サポートーズ」がスタート。
3月26日に文化庁で行われた「文化財サポートーズ」発表会に共同代表の近山が登壇しました。

NEW

クリエイティビティで“ルール”を可能性に変えていく Creative PA コレクティブ

PROJECT_Vegaは新たな提供サービスとして「Creative PA」を2025年8月よりスタートします。

「PA」とは「パブリックアフェアーズ」の略称で、
「企業や団体が政府や公共機関等に対する関係構築を通じて、
法制度などへの影響力を高める活動」と一般的には定義されています。

私たちは、その中でも特に 法律や条例だけでなく生活者に根差した
規範や世論といった「Peopleルール」に着目し、社会に発話を促すことで
ルールチェンジを起こし、成長可能性に変えることを目指します。

最適なソリューションと 最大のイマジネーション

PROJECT_Vegaには、ナショナル企業のブランディングから
社会課題解決まで国内外で数多くの実績を持つ
クリエイティブディレクター、ストラテジスト、PR、PAなど高度専門スタッフに加え、
数多くの行政案件の実績があるビジネスデザイナーが所属しています。
パートナーとして、構想から実装までワンストップでコミットします。
また、3000社を超える企業ネットワークとの共創提案が可能です。

Vega is the “NEXT” north star.

Vega/ベガはこと座の一等星で

「およそ一万二千年後に北極星になる星」と言われています。

たくさんの仲間に様々な立場で参加してもらうため、

「PROJECT」という単語をあえて組織名に残しています。

組織名：PROJECT_Vega/ プロジェクト ベガ

設立：4.1.2023

所在地：〒107-6322 東京都港区赤坂5丁目3-1 Bizタワー

連絡先：vega@hakuhodo.co.jp